

パブリックコメントに対する町の回答書

「国富町都市計画マスタープラン(案)」に対する意見と町の考え方

No.	章	ページ	意見	考え方
1	—	—	高速道路は住環境の悪化を招いている騒音公害の発生源になっている。東九州自動車道全線開通から、交通量が飛躍的に増えています。スマートインターチェンジ周辺集落の騒音対策として防音壁の設置をしてもらいたい。	防音壁設置には莫大な費用がかかるため、早急な設置は難しいと思いますが、道路管理者であるネクスコ西日本に設置の要望を行っていきたいと考えております。
2	—	—	地域の生活者の視点で、住民の立場に立ってどういう対策をとるのかという視点で、こうした計画の策定に当たっては、住民の意見を広く取り入れるべきと考えます。	今回の都市計画マスタープランの住民意見の反映としては、アンケート調査とパブリックコメントで住民の意向を把握し、計画に反映しました。今後個別計画を策定する場合には、ワークショップ等を行い、住民の意見を反映させたいと思います。
3	—	—	太陽光発電の経済効果について触れられていない。地域資源が生み出す経済効果が、地域経済にプラスになるような現状分析も必要ではないかと考えます。	太陽光発電のもたらす経済効果は大きいと思いますが、今後、担当課と調整しながら総合計画やエネルギー施策等の策定時に検討していきたいと考えます。
4	—	—	計画策定に当たっては、そこに住む地域の住民がどういう地域として自分たちがそこで暮らしたいと思っているのかを議論して主人公になるようにする視点が必要なのではと思います。それぞれ地域で議論する場を作られるようにと願っています。	今回の都市計画マスタープランの住民意見の反映としては、アンケート調査とパブリックコメントで住民の意向を把握し、計画に反映しました。今後個別計画を策定する場合には、ワークショップ等を行い、住民の意見を反映させたいと思います。